



新学年度スタート やる気スイッチ！

さて本日令和5年度の新学年が始まりました。新年度の清々しい空気とみなさんの新しい学年への喜びと期待をその瞳の輝きを感じ、この大自然豊かな知念中学校での学びが、みなさんにとって楽しくよりよいものとなるように、教職員一同力を合わせて努めていきます。

赴任式ではあたたかい歓迎のあいさつありがとうございました。

始業式では新しい年度のスタートとして以前、塾のCMを紹介しました。勉強のやる気が出ない子の‘やる気スイッチ’を先生が一生懸命探し、背中にあるのを見つけスイッチを入れると子どもが猛烈に走り出すというものです。

背中ですから自分では中々見つけられない。

けれどもみんな‘やる気スイッチ’を持っていて、気がつかないだけなのです。それを先生がスイッチを見つけて、入れてあげるというのです。

けれどもこの‘やる気スイッチ’、まんざら作り話でもないのです。人間には、側坐核(そくざかく)という部分が脳のほぼ真ん中にあり、そこから脳内物質(ドーパミン)が分泌することで「やる気」がでてきます。

しかし、この側坐核はやっかいで、やる気を出そうと思ってもなかなか活発に動き出しません。

では、どうすればこの側坐核が活発に働き、やる気が出てくるのでしょうか？

答えは、実際に行動することです。脳の側坐核は作業すると興奮し活発に動き出し、やる気につながります。これを作業興奮といいます。実際に行動すると、脳に刺激が与えられ側坐核が活発に働きだし、「やる気」が出るというのです。そして一度、側坐核が働き出すと、どんどん「やる気」が出てくるのです。つまり、「やる気」は行動しなければ出てこないのです。

勉強やどんな時でも、できることをまずやってみることです。

そうすると側坐核が働き出します。最後に東井義雄氏の「心のスイッチ」という詩を紹介しました。

心のスイッチ 東井義雄

人間の目は ふしぎな目
見ようという心がなかったら
見えても見えない

人間の耳は ふしぎな耳
聞こうという心がなかったら
聞いていても聞こえない

頭もそうだ はじめからよい頭 悪い頭の
区別があるのではないようだ
「よし、やるぞ」と心のスイッチが入ると
頭もすばらしいはたらきをしはじめる

心のスイッチが 人間を つまらなくもし
すばらしくもしていく

家庭でも「新しいことへのチャレンジ」、「できないことをできるようにしようとする努力」を大いに認め、励ましてあげてください。たくましく「自立」できる生徒に育つよう、応援していきたいと思っています。



○新職員紹介

新しい先生方を迎へ新学年度がスタートしました。赴任者を紹介します。

- 徳元 清政(新城小より)
- 熱田 康(兼城中より)
- 宮里 佑紀(白保中より)
- 大城もえな(初任)
- 喜納 英恭(久米島高校より)
- 赤嶺さわの(市事務)
- 屋我伸江(学習支援)
- 新崎ひとみ(自立支援)

○マスクについて

すでにお知らせしていますが、4月から学校でのマスク着用は求めません。しかし、マスクを外すことを強要するものでもありません。徐々にマスクを外すことに抵抗がなくなればよいと考えています。ただ、感染対策としてこれまで同様、朝の検温、健康観察は続けていただきたいと思います。そして、発熱、咽頭痛等の風邪症状がある場合は登校を控えていただきたいと思います。

今年度も保護者・地域の皆様には、これまで同様、温かなご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「やさしい言葉」かけ

右に示した言葉が
響きあう学校にし
ていきたいです。

ありがとう

すごいね！

良かったね

うれしい

やったね！

おめでとう

えらいね

がんばったね

ごめんなさい

お願いします